



西播磨 県土木だより

引原ダム

加里屋川



令和跨線橋

赤穂海浜公園



～光と水と緑でつなぐ～元気・西播磨～

海・山・川の自然に恵まれた地域

西播磨地域は、兵庫県南西部にあって、岡山県、鳥取県と県境を接し、近畿地方と中国地方の結節点とも呼べるところに位置しています。

北部の中国山地を源とする揖保川、千種川の清流が瀬戸内海に注ぎ、北中部には、緑豊かな森林や農地が広がり、南部の瀬戸内臨海部には、良好な海岸美が続く、自然豊かな地域です。また、相生市や赤穂市の臨海部には、工業地帯が形成されています。

管内は4市3町で構成され、東西43km、南北67km、総面積1,566.97km²で、県土の約18.7%を占めています。

人口は、242,580人（令和4年1月1日現在）で、県総人口に占める割合は4.5%となっています。昭和60年の国勢調査をピークに人口は減少傾向にあります。また、地域全般において高齢化率が県下でも高い傾向にあります。

（高齢化率：全人口中の65歳以上人口の割合）

市 町	面積 (km ²)	人口 (人)	高齢化率 (%)
相生市	90.40	27,874	36.5
赤穂市	126.85	45,078	33.6
宍粟市	658.54	34,023	37.6
たつの市	210.87	73,356	31.4
太子町	22.61	33,270	27.4
上郡町	150.26	13,590	41.0
佐用町	307.44	15,389	42.6
計	1,566.97	242,580	34.0
兵庫県	8,400.94	5,425,850	28.9

注)人口:兵庫県 企画県民部 統計課「推計人口」(令和4年1月1日現在)
注)高齢化率:兵庫県 健康福祉部 情報事務センター「高齢化率」(令和3年2月1日現在)



兵庫県 西播磨県民局
光都土木事務所 龍野土木事務所

令和4年3月

西播磨地域 社会基盤整備プログラム

道路や河川などの社会基盤の整備にあたり、西播磨地域をはじめ、県下全域で平成31年3月に策定した「社会基盤整備プログラム(2019～2028)」に基づき、地域の課題やニーズを的確に捉え、安全・安心で豊かさが実感できる県土づくりの効率的・効果的な推進に努めています。

備える

～自然災害に備える防災・減災対策の強化～

河川事業

災害関連事業などによる河道を広げる改修工事のほか、堆積土砂掘削・樹木伐採などの維持管理を進めています。また、河川の多様な自然環境の保全に配慮した水辺空間の創出にも取り組んでいます。



山根川河川改修事業
(たつの市)



千種川堆積土砂撤去工事
(佐用町船越)

区分		一級河川	二級河川	合計
水系数	西播磨	1	8	9
	全県	5	92	97
河川数	西播磨	41	76	117
	全県	327	358	685
河川延長 (km)	西播磨	195	378	573
	全県	1,773	1,721	3,494

※西播磨地域における一級河川は、県管理区間のみ
(令和3年4月1日現在)

TOPICS

千種川復活大作戦

光都土木事務所では千種川で水温調査や川に親しむ活動を行っている千種川圏域清流づくり委員会等との連携のもと、小さな自然再生の手法を駆使し、計画的、継続的に多様な生物が生息する河川環境創出に取り組んでいます。

◇事業例(案)

場所：上郡町河野原

事業目的：河川改修により川幅が広がった箇所について、低水時でも水深が確保できるよう、元の河床幅程度の低々水路を形成する

方策：バープ工の設置

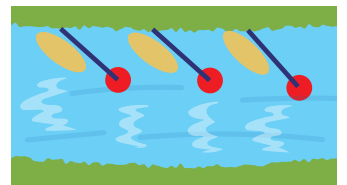
バープ工とは：・矢じり、釣り針の返し部分の形状を BARB(バープ)という

・川の流れに対して、川岸から上流側に向けて突き出して設置する、高さの低い水制の一種

・河川の洗掘や土砂堆積を促す



(二)千種川水系佐用川



参考(令和元年度完成・佐用川・秋里川合流地点) —バープ工 ●洗掘箇所 ●堆積土砂

砂防事業

豪雨による土砂・流木災害が激甚化・頻発化していることを踏まえ策定した「第4次山地防災・土砂災害対策計画(R3～R7)」に基づき、R区域に指定された谷出口周辺やがけ直下に人家がある箇所、Y区域に要配慮者利用施設や緊急輸送道路がある等緊急性の高い箇所を優先して整備していきます。



急傾斜地崩壊対策工事
(宍粟市山崎町五十波)



砂防事業 大鹿谷川
(赤穂市木津)

土砂災害警戒区域 指定状況	西播磨	箇所数	
		土砂災害警戒区域 (Y区域)	土砂災害特別警戒区域 (R区域)
土石流	西播磨	1,385	469
	全県	6,991	2,185
地すべり	西播磨	25	0
	全県	275	0
急傾斜	西播磨	2,749	2,315
	全県	14,148	10,692

(令和3年12月28日現在)

自然災害に 備える

発生確率が高まっている南海トラフ地震や、頻発する集中豪雨等に備えた地震・津波対策、総合治水対策、土砂災害対策 など

日々の暮らしを 支える

- ・地域の交流を支える道路の整備
- ・交差点の渋滞対策や踏切の安全対策 など

次世代につなぐ

- ・地域活性化の基盤となる基幹道路ネットワークの整備
- ・今後急速に進展することが懸念される社会基盤施設等の老朽化対策 など

総合治水

近年、開発や都市化の進行、多発する局地的大雨により、雨水の流出が増え、浸水による被害が拡大しています。

そこで、これまでの「ながす」対策（河川下水道対策）に加え、雨水を一時的に貯める・地下に浸透させる「ためる」対策（流域対策）や、浸水してもその被害を軽減する「そなえる」対策（減災対策）を組み合わせた『総合治水』の取り組みが重要となっています。

西播磨地域では、千種川流域圏と揖保川流域圏それぞれの地域総合治水推進計画に基づき、総合治水の取り組みを進めています。



校庭貯留施設（相生産業高校）

流域対策「ためる」

学校（校庭貯留）、ため池などで、雨水を一時的に貯留し、雨水の流出を抑制する「ためる」対策

<方策>

- ①調整池の設置・保全
- ②雨水貯留浸透施設等の設置
- ③森林整備による保水力の維持



洪水浸水想定区域図

減災対策「そなえる」

避難等に役立てていただけるように洪水浸水想定区域図の作成を行うなど、「そなえる」対策

<方策>

- ①浸水想定区域の周知
- ②被害軽減に関する知識の普及啓発
- ③施設の耐水化



河道拡幅工事（千種川）

河川下水道対策「ながす」

河道の拡幅、堤防の設置、河床の掘削などの「ながす」対策

<方策>

- ①河川・ダムの整備・維持
- ②下水道の整備・維持

防災情報の提供

兵庫県CGハザードマップでは、土砂災害・洪水・高潮・津波・ため池に関する自然災害や避難所等が確認できます。兵庫県河川監視システムでは、西播磨地域を流れる千種川水系と揖保川水系を始めとする河川の状況をライブカメラと水位情報でリアルタイムで確認することができます。



兵庫県CGハザードマップ



兵庫県河川監視システム



ダム事業

ダムには洪水を防ぐ（治水）、水を供給する（利水）、電気をつくる（発電）などの目的があります。

管内の県管理ダムは、引原ダム、金出地ダム、安室ダム及び長谷ダムがあり、このうち金出地ダムでは、平成31年4月からの本格運用開始後、令和元年11月22日にダムを周回する道路工事も完了し、一般に供用開始しました。

また、引原ダムでは、昭和33年3月の運用開始以降「異常洪水時防災操作」を直近で2回（平成23年・平成30年）実施したこと等を踏まえ、令和2年度から既存ダムを有効活用する「ダム再生事業」を進め、揖保川流域の更なる治水安全度の向上に取り組めます。



金出地ダム
(上郡町金出地)



引原ダム
(宍粟市波賀町日ノ原)
平成30年7月7日
異常洪水時防災操作

TOPICS

引原ダム再生事業

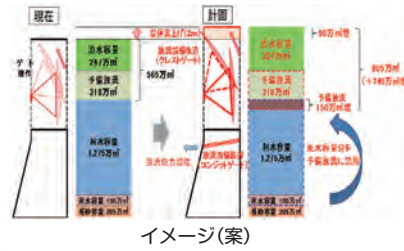
事業期間：令和2年度～令和11年度（予定）

事業費：210億円

事業内容：・堤体高上げ（2m）

- ・放流設備の新設（コンジットゲートφ3m・1門）
- ・放流設備の更新改造（既設クレストゲート・2門）
- ・国道付替、管理用道路付替
- ・管理棟移設

事業効果：貯水容量の拡大や、放流機能増強による
揖保川流域の浸水被害の軽減



支える

～日常生活や地域を支える社会基盤の充実～

道路事業

交通確保を目指し、幹線道路網の強化や、日々の暮らしの利便性を高める道路拡幅やバイパス化、歩道整備や安全円滑な維持管理を行っています。

竜泉那波線



播磨科学公園都市と相生市臨海部の地域間交流の促進と産業基盤の強化、地域活性化を目的とした、国道2号と国道250号を結ぶ一般県道竜泉那波線の整備を進めています。

網干たつの線（令和跨線橋）



揖龍南北幹線道路を形成する主要地方道網干たつの線において、JR山陽本線と立体交差する令和跨線橋が令和2年3月22日に供用開始しました。

太子御津線（糸井高田橋）



主要地方道太子御津線の茶ノ木踏切では踏切遮断時間が長く、慢性的な渋滞が発生しているため、円滑な交通の確保と踏切事故の軽減を目的に、JR山陽本線と立体交差する跨線橋（糸井高田橋）の整備を進めています。

通学路の安全対策



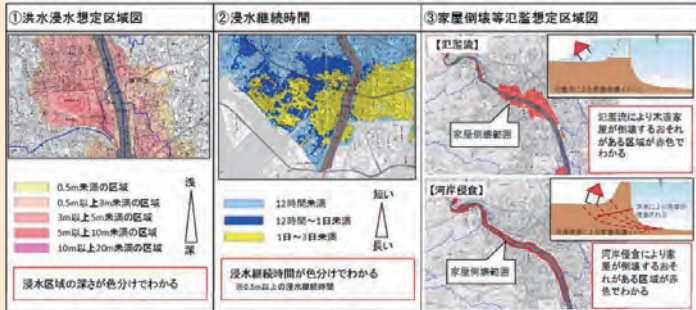
国道179号（佐用町三日月）

通学児童の安全を確保するため、学校、警察、道路管理者等が連携して各市町が策定した「通学路交通安全プログラム」に基づき、通学路において歩道整備等の交通安全対策を計画的に推進します。

洪水浸水想定区域図等の公表

近年、河川整備計画の想定を上回る降雨により洪水被害が発生しています。

「施設では防ぎきれない大洪水は発生するもの」との考えに立ち、想定し得る最大規模の降雨による洪水浸水想定区域図〔想定最大の浸水図〕等の公表をしました。水害のリスクを確認し、避難等に役立てていただけるよう、県が管理する全ての河川について作成し、県HPに公表するとともに、市町のハザードマップ作成を支援します。



兵庫県
ホームページ

緊急輸送道路等の機能強化

緊急輸送道路や重要物流道路の強靱化を図るため、近年の大規模災害を鑑み、「河岸浸食・冠水対策」「土砂災害対策」「大規模浸水対策」など、緊急輸送道路等が発災直後からその機能を果たせるよう、集中的に対策を実施します。



穴栗新宮線
(穴栗市山崎町下比地)

つなぐ

～次世代につなぐ社会基盤の形成～

港湾・海岸事業

相生港、坂越港、赤穂港、古池港の各地方港湾及び海岸保全施設の管理を行っています。

近年は台風等による浸水被害を防止する対策として、赤穂市御崎地区等の防潮堤嵩上げ、相生市旭の旭排水機場の機器更新等も継続的に実施しています。



旭排水機場
(相生市旭)

老朽化対策

最新の設備点検や対策実施状況を踏まえ策定した「ひょうごインフラ・メンテナンス10箇年計画」(2019年度～2028年度)に基づき、橋梁や道路路面、排水機場などの計画的・効率的な老朽化対策を進めます。



新香橋耐震・補修工事
(たつの市新宮町下野)

基幹道路ネットワークの充実強化

中国横断自動車道 姫路鳥取線

山陽・山陰地方を結び、沿道地域の産業や経済・生活・文化の活性化を図る姫路鳥取線が令和4年3月に全線開通したことで、「播磨科学公園都市」と接続し、西播磨地域の発展に寄与しています。
(事業者:NEXCO西日本)



播磨臨海地域道路

播磨臨海地域道路は、国道2号バイパスの渋滞解消、災害時のリダンダンシー確保とともに、ものづくり拠点である播磨臨海地域の発展に必要な道路です。播磨臨海地域道路(第二神明～広畑)について、国がルート・構造検討に係る調査等を進めています。



土木事務所の仕事紹介

県土木施設の管理事務

県が管理する道路・河川・砂防・港湾・公園などの公共土木施設の管理や、占用等の許認可事務を行っています。

- ・道路占用・河川占用
- ・砂防指定地内制限行為
- ・港湾占用・港湾施設使用
- ・官民境界協定・特殊車両通行許可
- ・小型船舶係留施設への係留許可



樋門点検

ダムの管理

県管理のダムにおいて、台風接近時等の洪水調節をはじめ、平常時は、ダムの各施設を点検してダム機能に異常が生じていないか確認しています。また、ダム湖の水質調査や漂流物の集積撤去、ダム湖周辺をパトロールして、良好なダムの環境維持に努めています。

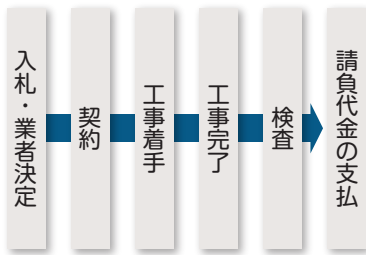


漂流物の除去(引原ダム)

入札・契約事務

県が管理する道路、河川、砂防施設などの公共土木施設を整備する工事及び測量、調査、設計業務などの入札・契約に係る事務を行っています。

「公共工事の品質確保」や「適正な契約事務」を遂行できるように、入札・契約事務の透明性・公平性・競争性の確保、向上に努めています。



公共工事の発注から精算までの流れ

道路パトロール

道路管理パトロール隊により10台のパトロールカーで国道(県管理区間)と県道のパトロールを実施し、損傷箇所や調査や補修、道路上の落下物の回収作業を行うことで、適正に道路を管理し、安全に道路を通行できるよう努めています。



道路の補修作業

事業用地の取得

県が行う道路や河川、砂防施設などの公共施設を整備する工事に必要な土地(事業用地)の取得に関する事務を行っています。

また、土地の取得に伴い、建物や工作物、立木等の物件について移転などが必要となる場合には、その補償も行っています。



用地取得事務の流れ

山城復活プロジェクトにおける光都・龍野土木事務所の取り組み

西播磨県民局では、管内に130以上ある山城をはじめとする史跡や伝統文化体験を活用し、西播磨への誘客を図る「西播磨山城復活プロジェクト」に取り組んでいます。なかでも主要な山城を山城11(イレブン)(※)と銘打ちPRしています。

西播磨県民局の取り組みの中で光都・龍野土木事務所では、管内に点在する山城跡の登山道周辺において、山城のロゴマークが入った案内標識を設置し、公共交通機関、自動車、バイク、自転車を利用した山城巡りのための取り組みを行なっています。

※山城11(イレブン) 利神城(佐用町)、感状山城(相生市)、白旗城(上郡町)、篠ノ丸城(宍粟市)、龍野古城(たつの市)、尼子山城(赤穂市)、樞岩城(太子町)、城山城(たつの市)、長水城(宍粟市)、上月城(佐用町)、坂越浦城・茶臼山城(赤穂市)



TOPICS

赤穂海浜公園リノベーション計画

赤穂海浜公園は歴史的背景を生かしながら、塩田跡に造られた県立都市公園で、昭和62年の開園から30年以上が経過しています。

令和3年には「赤穂の塩を活かした地域・観光振興、多様な遊具等を活かしたレクリエーション」をテーマとしたリノベーション計画を策定しました。本計画に基づき、民間活力導入を検討しつつ、トイレの全面改修や老朽施設の更新等も行っています。直近では、未就園児・幼児・児童のそれぞれを対象とした遊具や芝生山の整備を行いました。



児童用複合遊具



芝生山

TOPICS

サイクリングツーリズムの推進

「ぐるっと西はりま」

サイクリングを通じて西播磨地域の海・山・川などの豊かな自然や美しい景観などの魅力を楽しんでもらえるよう、モデルルートや地域ルートを設定し、西播磨地域サイクリングガイド「ぐるっと西はりま」を作成しました。



ガイドは県内道の駅などで無料配布、または県ホームページよりダウンロードできます。

モデル	延	長:171.9 km
ルート	最大標高差:	529m
概要	獲得標高:	1,181m

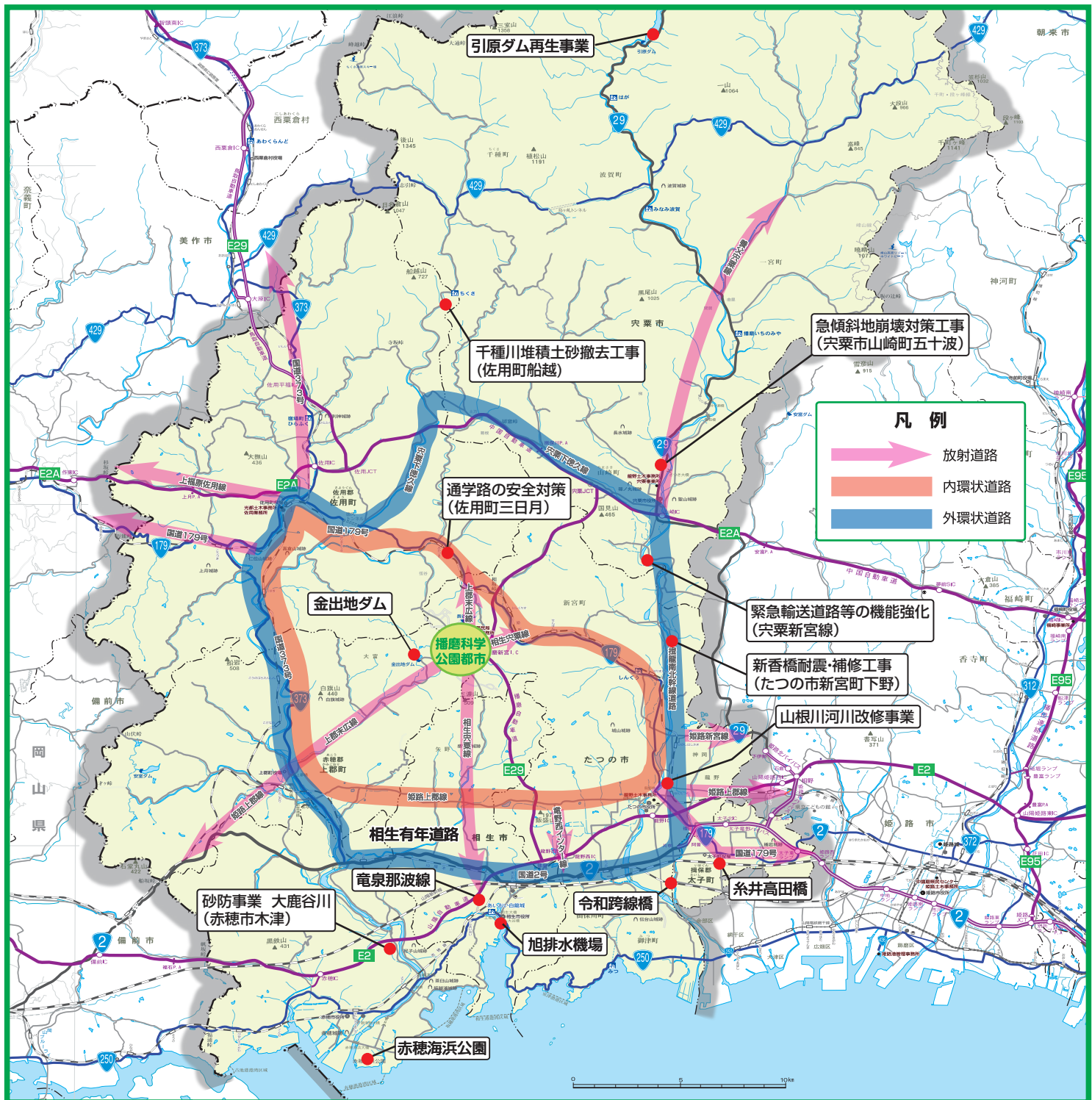
播磨科学公園都市を核とした 道路ネットワークづくり

播磨科学公園都市を核とする放射道路と環状道路をバランスよく整備することにより、地域の連携強化と災害に強い道路の形成を目指します。

区分		延長(km)
一般国道	西播磨	164.5
	全県	878.0
主要地方道	西播磨	232.0
	全県	1,553.2
一般県道	西播磨	382.0
	全県	2,408.6

※県管理延長(令和3年4月1日現在)

道路ネットワーク及び事業箇所図



光都土木事務所・龍野土木事務所の概要

